

2014年度『専門職大学院研究論集』（第7号）

論文募集要項

本年度の『専門職大学院研究論集』（ガバナンス研究科，グローバル・ビジネス研究科，会計専門職研究科）の応募は，以下の要領に従ってください。応募にあたっては，テーマ，内容等に関し，あらかじめ指導教員と密接に連絡を取ってください。

1. 論文内容

1. 論文は，専攻分野に関して高度の専門性を備えた学術論文のほか，学術調査，共同研究を含め，学術上対外的に発表に値するものと認められるものでなければならない。
2. 論文は，専攻分野における研究に寄与するもので，明白な誤りがなく，さらに原則として他の公開の出版物に発表されていないものとする。
3. 論文の満たすべき具体的条件については，各研究科別に基準を設ける。ただし，全般にわたる論文の実証性・合理性については，以下の諸点に留意すること。
 - (1) 研究素材の理解が正しく，解釈に無理はないか。
 - (2) 事実認定に実情を無視したところはないか。
 - (3) 概念の使用が一貫しているか。
 - (4) 論理の進め方に不合理な点はないか。

2. 応募資格

1. 本専門職大学院在籍者。（聴講生・研究生・科目等履修生を除く。）
2. 本専門職大学院修了生で，在籍時の指導教員の承認を受けた者。（指導教員が退職等の場合は，所属研究科専攻主任の承認を受けること。）

3. 作成様式

1. 用紙：A4用紙，横書き
2. 字数：28,000字以内（図表含む）
3. 書式：44字×34行，19枚以内

4. 執筆上の注意

1. 論文本文
 - (1) 原稿枚数の制限超過は認めません。
 - (2) 論文内容の目次をつける場合は，制限字数に含めます。
 - (3) 注記も制限字数に含めます。
 - (4) 全文外国語（英語・独語・仏語）で作成する場合も，制限枚数は日本語論文と同じとする。
 - (5) 注の書き方については，既刊の各研究論集を参考にすること。とくに，邦文文献名には『 』を付し，欧文文献名についてはイタリック体とすること。
 - (6) 論文題名は，邦文題名には英文訳，外国語題名には邦文訳および英文訳を記入すること。
 - (7) 図表・グラフ等は，トレースしやすいものを提出すること。図表・グラフ等も制限枚数に含め，その点数を添付書に記入すること。
 - (8) 校正の際，原則として文章の加筆・訂正は認めません。

2. 掲載用論文要旨

- (1) 3の審査用論文要旨とは別に、掲載用論文要旨3部を添付すること。
- (2) 論文題名、執筆者氏名、500字以内の「掲載用論文要旨」、「キーワード(5つ)」を作成すること。これらは制限字数に含めません(3も同様)。

3. 審査用論文要旨

- (1) 2の掲載用論文要旨とは別に、審査用論文要旨3部を添付すること。
- (2) 論文題名、執筆者氏名、1,000字以内の「審査用論文要旨」を作成すること。
- (3) 審査用論文要旨は掲載しません。

5. 提出物(添付書類等)

1. 論文3部を、次のように添付書類等を添えて提出すること。
 - (1) 添付書(所定様式)・・・1枚のみ、論文3部と一緒に提出。
 - (2) 論文審査判定書(所定様式)・・・各論文(3部)に添えて提出。
 - (3) 論文題名(所定様式)・・・各論文(3部)に添えて提出。
 - (4) 審査用論文要旨・・・各論文(3部)に添えて提出。
 - (5) 掲載用論文要旨・・・各論文(3部)に添えて提出。
 - (6) 論文本文・・・3部提出。
2. 論文の電子データファイル(図表がある場合は、それを含む)を、CD・USB等にて提出すること。その際、必ず氏名・研究科を明記すること。なお、メディアの返却は行わない。

6. 提出および発刊までのスケジュール

1. 予備登録：2014年9月22日(月)～9月29日(月) ※日曜を除く
※指導教員の内諾を得た上、原則として、専門職大学院事務室の各研究科窓口にて、氏名と論文題名を登録する。ただし、ガバナンス研究科及びグローバル・ビジネス研究科で指導教員が未確定の者、会計専門職研究科の応募者は、各研究科の専攻主任の内諾を得ること。
2. 論文提出：2014年10月24日(金)～10月30日(木) ※日曜を除く
※「5. 提出物」の必要な物を全て揃え、専門職大学院事務室の各研究科窓口へ提出する。
3. 掲載可否の連絡：2014年12月中旬
4. 初校：2014年12月中旬(予定) 業者⇒本人、本人⇒業者 ※郵送費用は大学負担
5. 二校：2015年1月中旬(予定) 大学⇒本人、本人⇒大学 ※郵送費用は大学負担
6. 発刊：2015年3月中旬(予定)

7. 論文の電子化による公開について

本研究論集に掲載された論文は、電子化し、ホームページ上で公開する場合があります。この場合、本学において電子化を行なう以外にも、本学が委託した機関において電子化、公開することもあります。電子化による公開の可否について、「添付書」の所定欄に必ず記入してください。

8. その他

論文掲載者には、論集3冊および抜刷30部(共同執筆の場合は、合わせて30部)を贈呈します。なお、抜刷の増刷を希望する場合、二校終了時まで、専門職大学院各研究科窓口に申し出てください。増刷分については、別途実費を徴収します。

以上